

**飛島村のむらづくりに関する
住民・事業所アンケート調査結果
(バス関係部分)**

平成 22 年 11 月

1 住民向けアンケート調査

(1) 調査概要

対 象	飛島村にお住まいの 18 歳以上の方 1,300 人
調査手法	記入式・郵送回収
調査期間	2010 年 8 月 27 日 (金) ~9 月 20 日 (月)
回収数・回収率	622 票・47.8%
設 問	問 1 回答者自身について 問 2 普段の生活行動について 問 3 飛島村の印象・魅力について 問 4 行政サービスに対する満足度について 問 5 今後の行政サービスのあり方について 問 6 村内における交流活動について 問 7 飛島村の定住環境について 問 8 地域交通 (飛島バスほか) について

○報告書の見方

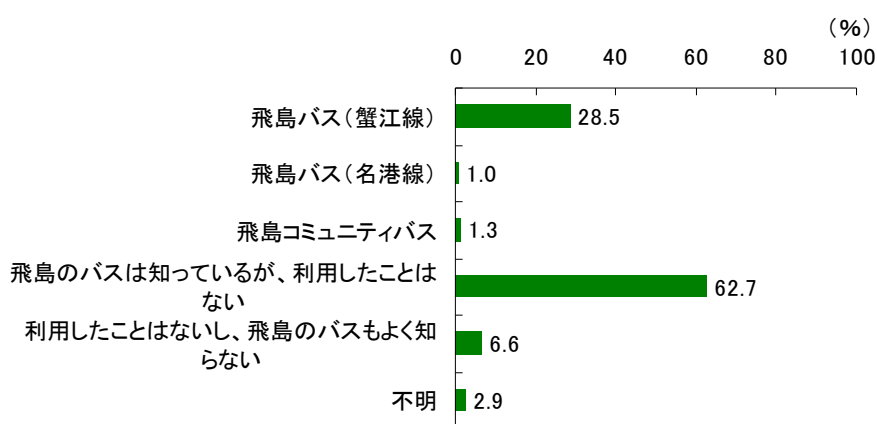
- ・ 本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

(2) 集計結果

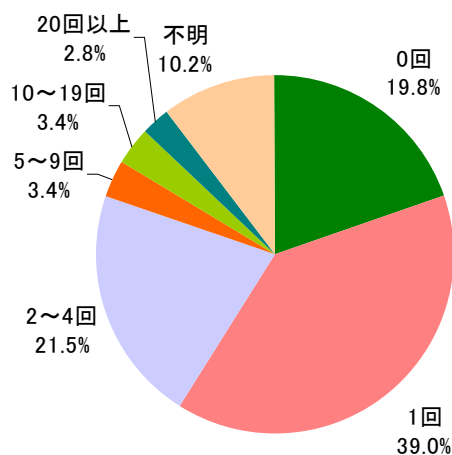
問8. 地域交通（飛島バスほか）について、おたずねします。

⑬飛島村では、住民の生活の足を確保するために、複数の路線バスを運行しています。あなたが利用したことのある飛島のバスについて、その番号を全て選んで○印をつけてください。また、その利用する頻度について、回数をご記入ください。

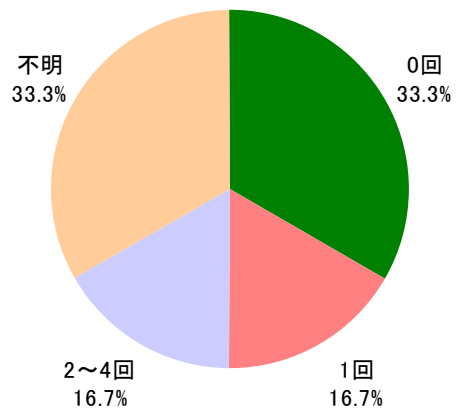
- 「知っているが利用したことはない」人が約6割存在する。
- 利用されるバスは、「飛島バス（蟹江線）」が最も多い（約3割）。
- 村内を通過する「飛島コミュニティバス」の利用は1%程度となっている。



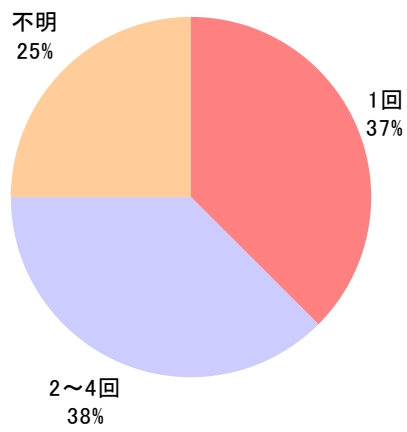
月に飛島バス（蟹江線）を利用する頻度



月に飛島バス（名港線）を利用する頻度



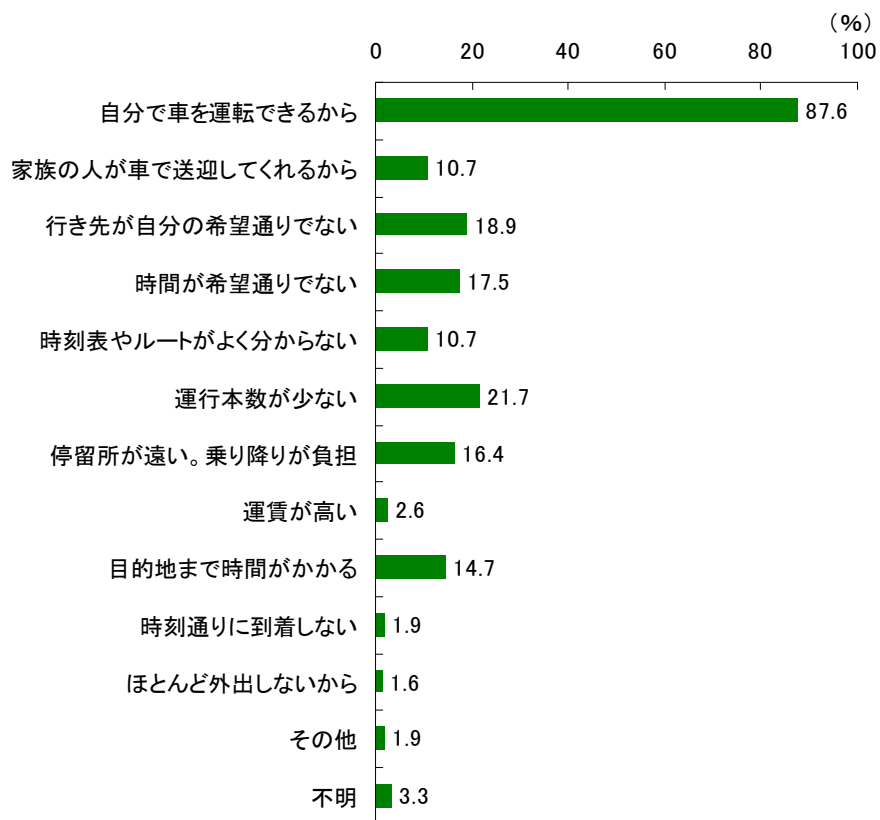
月に飛島コミュニティバスを利用する頻度



○利用しない理由としては、「自分で車を運転できるから」が約9割と最も多い。

その他理由としては、「運行本数が少ない（22%）」「行き先が希望通りでない（19%）」「時間が希望通りでない（18%）」「停留所が遠い・乗り降りが負担（16%）」「目的地まで時間がかかる（15%）」が指摘されているが、選択肢間の抽出割合にはあまり差がない。

※「飛島のバスは知っているが、利用したことはない」又は「利用したことはないし、飛島のバスもよく知らない」と回答された方は、利用しない理由の全てに○印をつけてください。

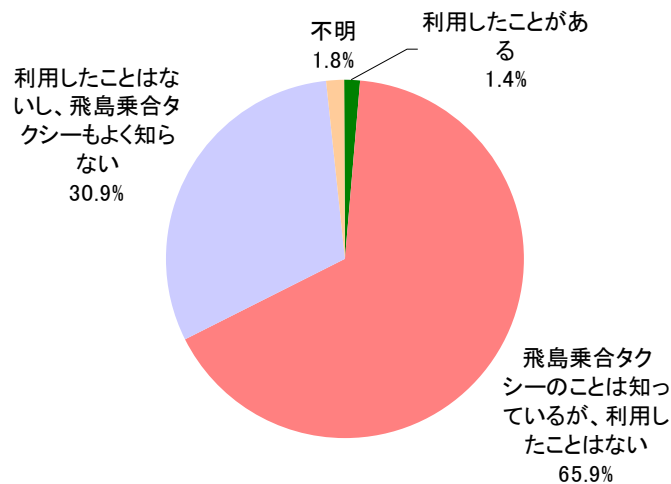


⑭昨年10月からは、海南病院へ通院される方を支援するため、「飛島乗合タクシー」の運行を開始しました。あなたは、「飛島乗合タクシー」を利用したことはありますか。

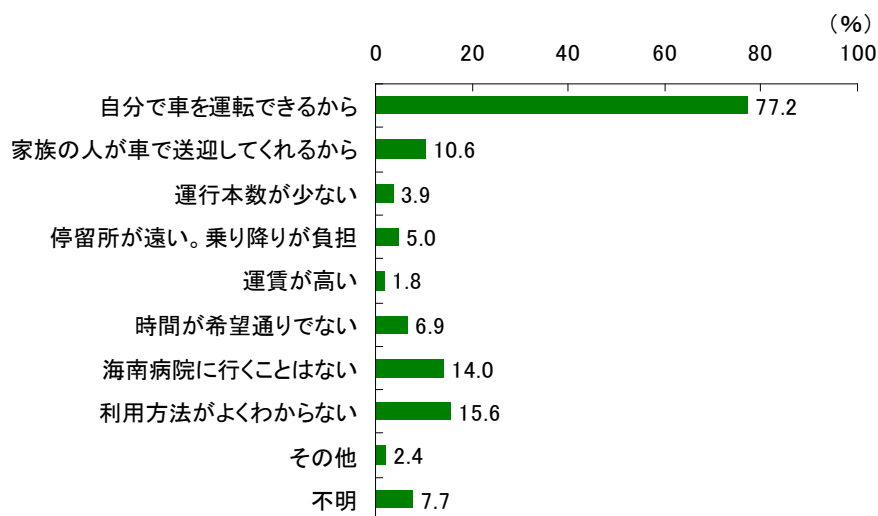
○利用したことがある割合は約1%であり、飛島コミュニティバスの利用割合と変わらない。

利用しない理由としては、「自分で車を運転できるから」が最も多い。

「よく知らない人」が31%存在しており、また、「利用方法がよくわからない」との回答が16%認められた。認知面について課題がある。試乗会やお試し券などで利用してもらい、利便性が体感されれば、利用者数が増える可能性は高いものと思われる。

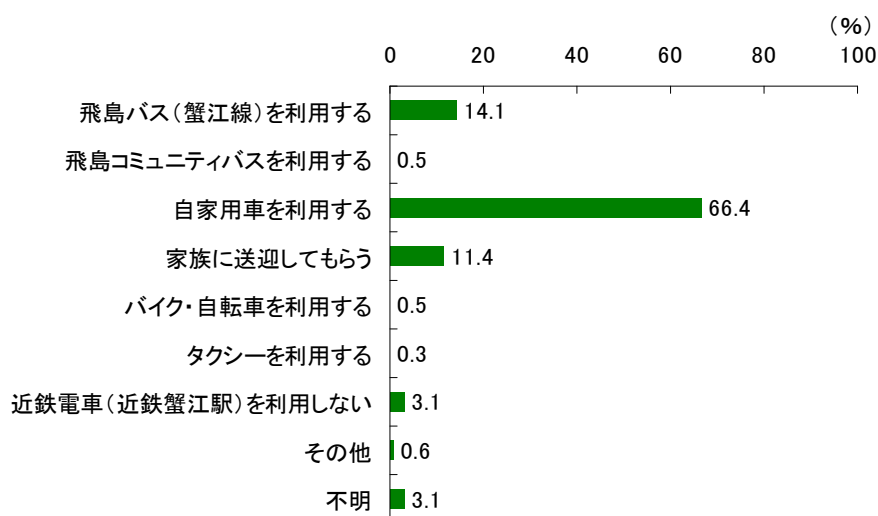


※「飛島乗合タクシーのことは知っているが、利用したことはない」又は「利用したことはないし、飛島乗合タクシーもよく知らない」と回答された方は、利用しない理由の全てに○印をつけてください。

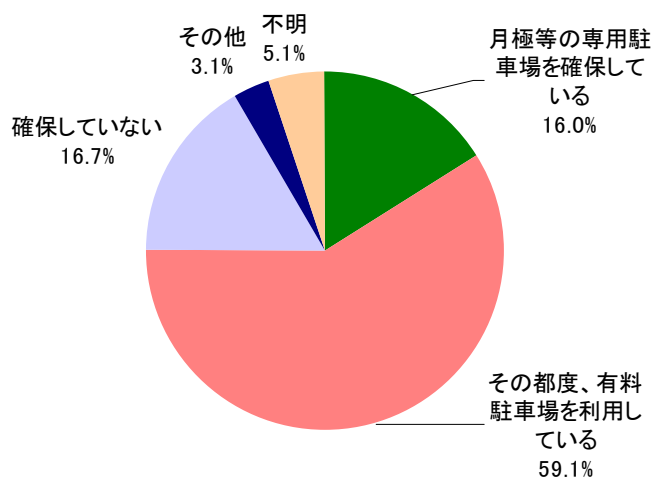


⑮あなたが近鉄電車（近鉄蟹江駅）を利用する時、近鉄蟹江駅までは、どのような交通手段を利用しますか。主に利用する交通手段についてその番号を1つ選んで○印をつけてください。

○近鉄蟹江駅までの移動手段としては、「自家用車を利用する」が約7割と最も多いが、次いで「飛島バス（蟹江線）（約14%）」が利用されている。
 自家用車の利用者も、「その都度、有料駐車場を利用」しており、駐車料金や自動車の維持管理費等の経費負担感と、飛島バスの利便性についての認識がより高まれば、飛島バスの利用拡大が進むものと思われる。



※「自家用車を利用する」と回答された方は、近鉄蟹江駅周辺に駐車場を確保していますか？

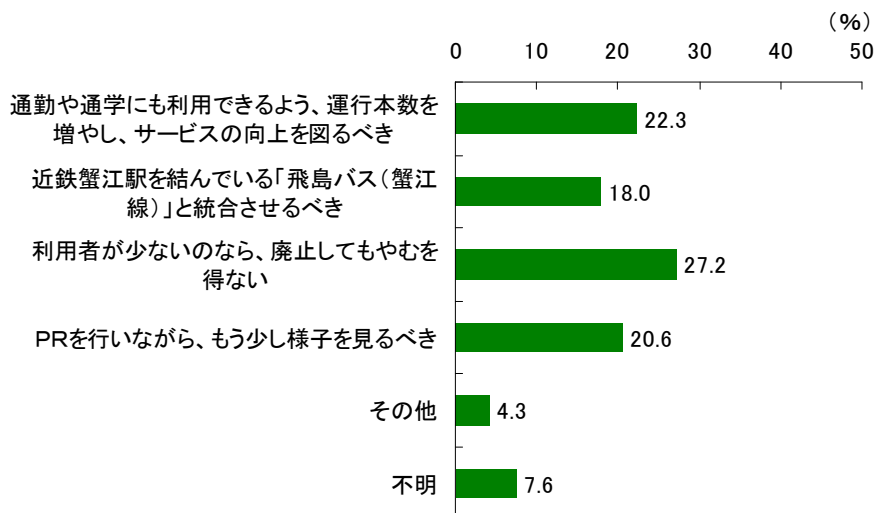


⑩「飛島コミュニティバス」は、昨年4月から村内を巡回する4つのルートで運行を開始しましたが、利用者が少なかったため、今年4月から梅之郷や大宝地区などを経由して、直接近鉄蟹江駅に接続するルートに変更しました。

今後も利用状況などを踏まえ、何らかの改善が必要と考えています。この点について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

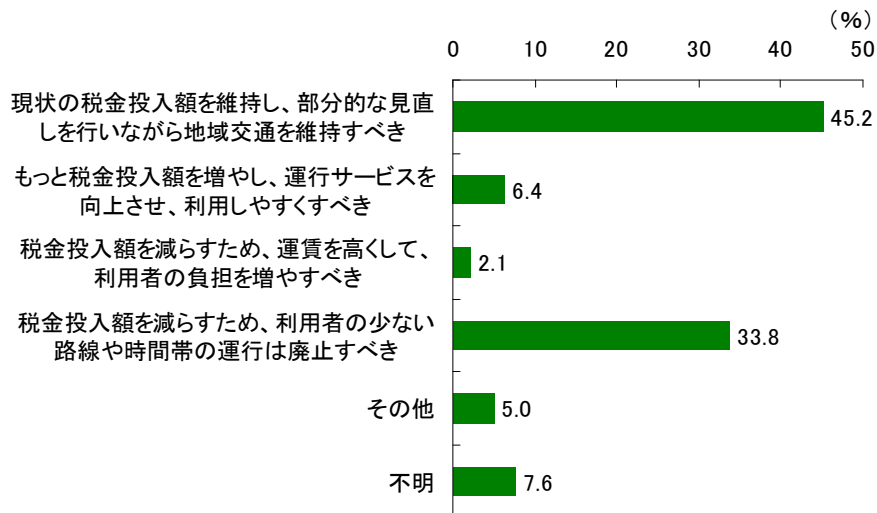
○サービス向上や蟹江線との統合など「事業改善を求める人」は全体の約4割で、「廃止してもやむを得ない」との回答者（約3割）を上回っている。

「もう少し様子を見るべき」人も約2割存在しており、サービス改善を図り事業継続を模索することに対して、一定の理解が得られるものと思われる。

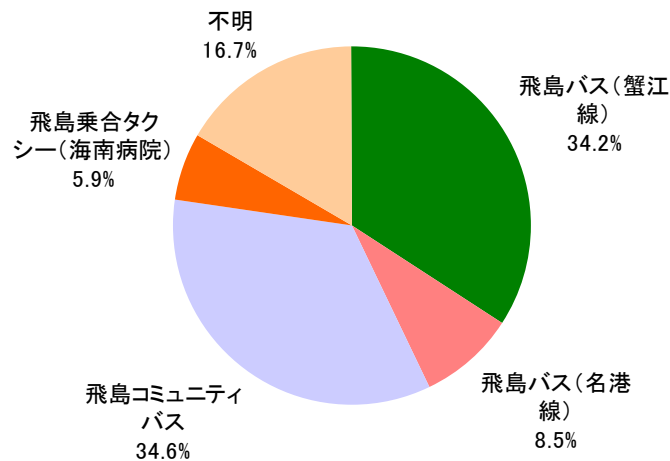


⑩ 「飛島バス」や「飛島コミュニティバス」、「飛島乗合タクシー」の運行費用は、飛島村の税金と運賃などによって賄^{まかな}われています。これまでも、利用しやすい公共交通を目指し様々な改善を行ってきましたが、大幅な改善をすることで、運行費の負担が増えることも考えられます。今後の対応について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

○「税金投入額を減らし、無駄な運行は廃止すべき」との回答（約 34%）よりも、「税金投入額を維持し、部分見直しにより維持すべき」との回答（約 45%）が上回っている。サービス改善を図り事業継続を模索することについて、特に蟹江線とコミュニティバスに対してその意向が強い。

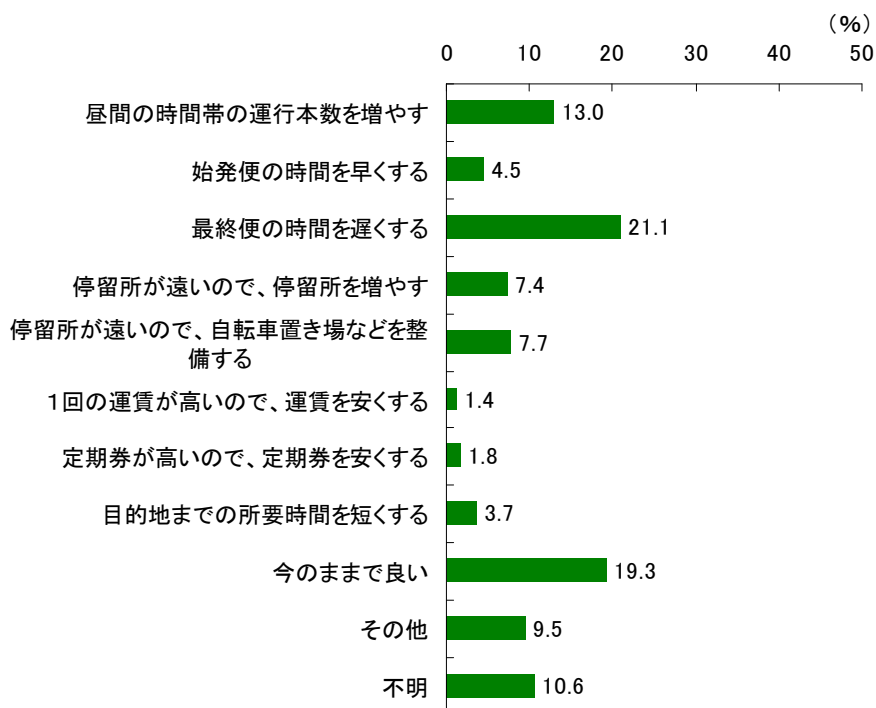


⑩問⑩で、特にそのように思った路線・ルートは、次の内のどれですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○印をつけてください。



⑭「飛島バス（蟹江線）」は、昨年実施したアンケート結果をもとに、今年の4月から平日や休日の最終便や役場経由の便を増便しましたが、これからも皆様にご利用いただくための改善が必要と考えています。あなたが「飛島バス（蟹江線）」を利用するためには、今後どのような改善が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

○「今のままで良い」とする意見は約19%に留まり、改善に対する要望は強い。
 最も多い改善要望としては、「最終便の時間を遅くする（約21%）」で、次いで「昼間帯の運行本数を増やす（13%）」が選択された。



(3) 参考データ

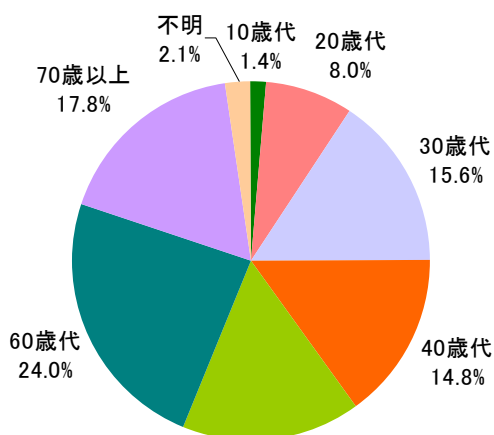
問1. まず、あなた自身について、おたずねします。

①お住まいはどちらですか。(1つに○)

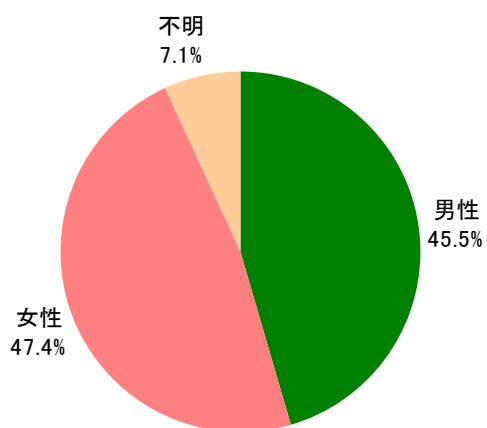


②年齢、性別、職業、家族構成をご記入下さい。((4) 以外はそれぞれ1つに○)

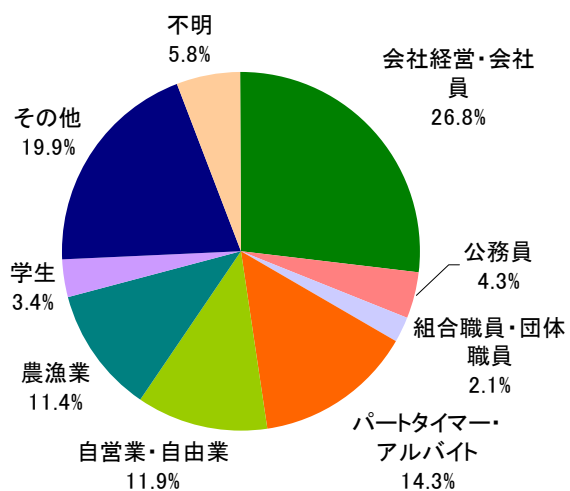
(1) 年齢



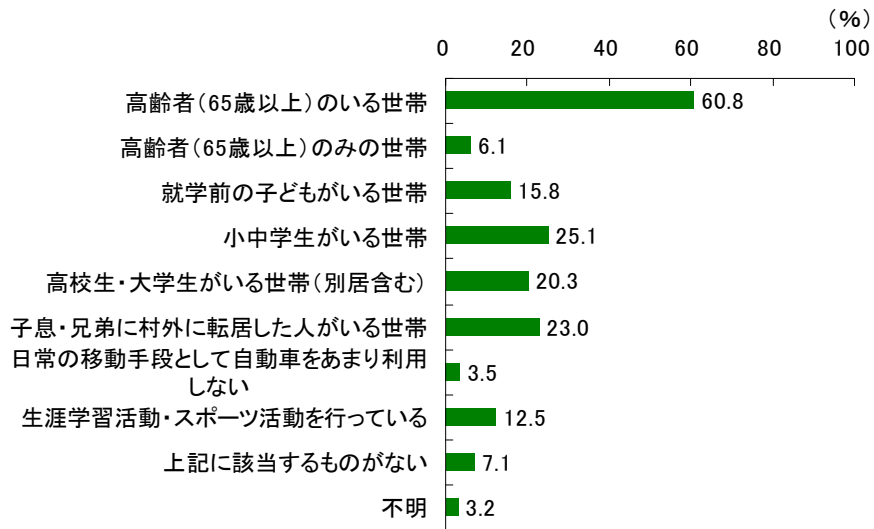
(2) 性別



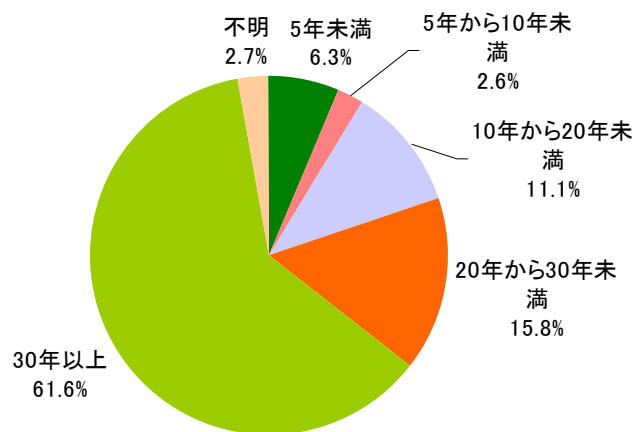
(3) 職業



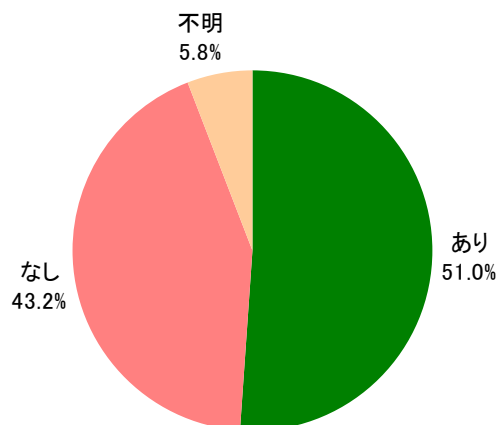
(4) 家族構成・個人属性 (該当するものすべてに○)



(5) 村内での居住年数



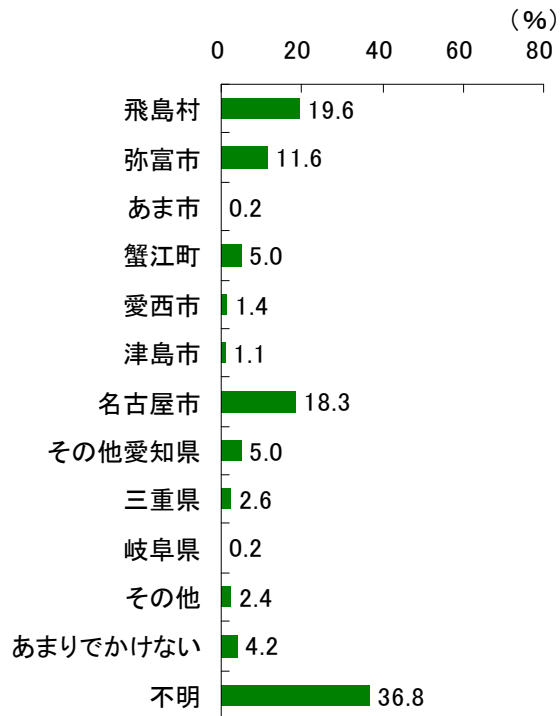
(6) 村外での居住歴



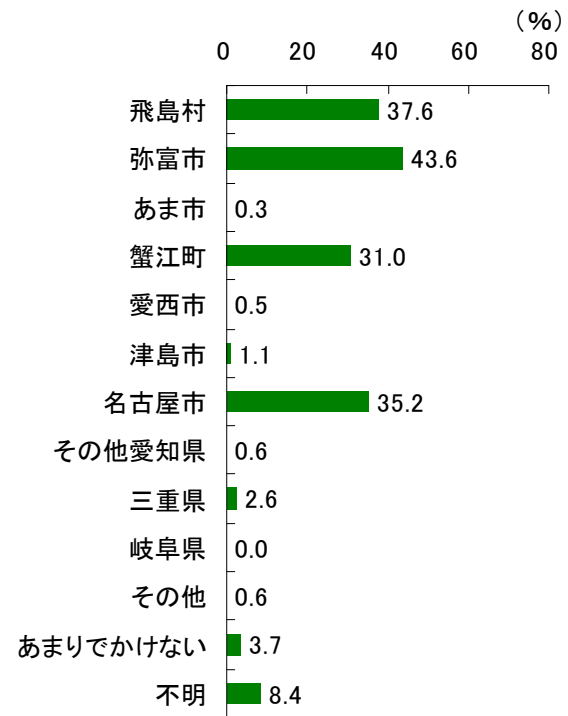
問2. あなたの普段の生活行動について、おたずねします。

③あなたが次の行動をする場合、どこへ行くことが多いですか。次の各行動について、該当する地域の番号を2つまで選んで○印をつけてください。

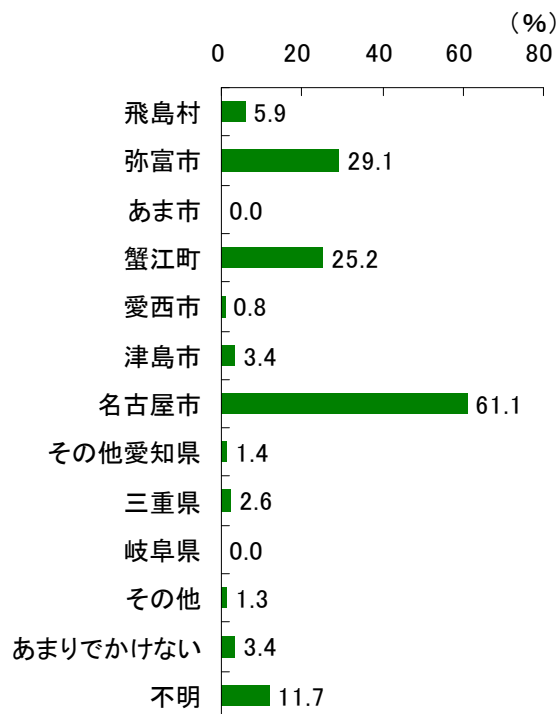
(ア) 通勤・通学



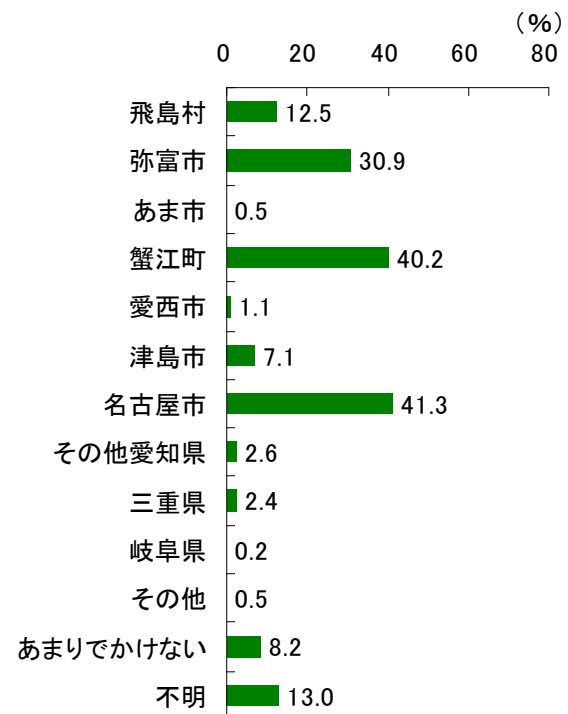
(イ) 日常の買い物（食品等）



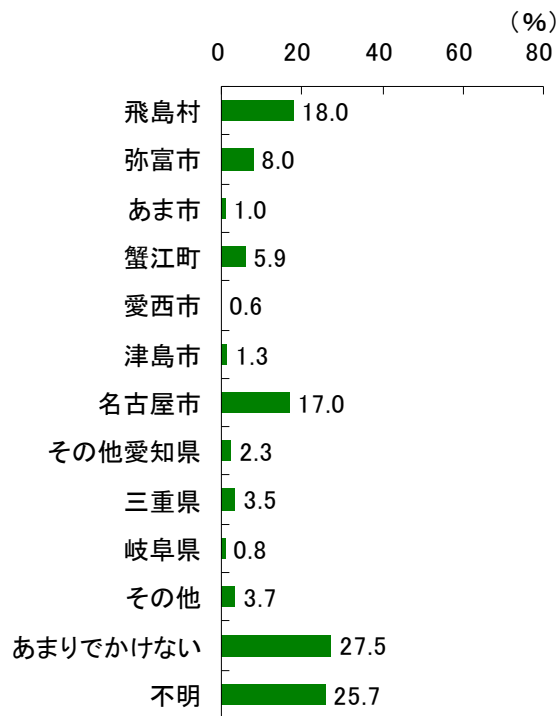
(ウ) 休日の買い物（贈答品等）



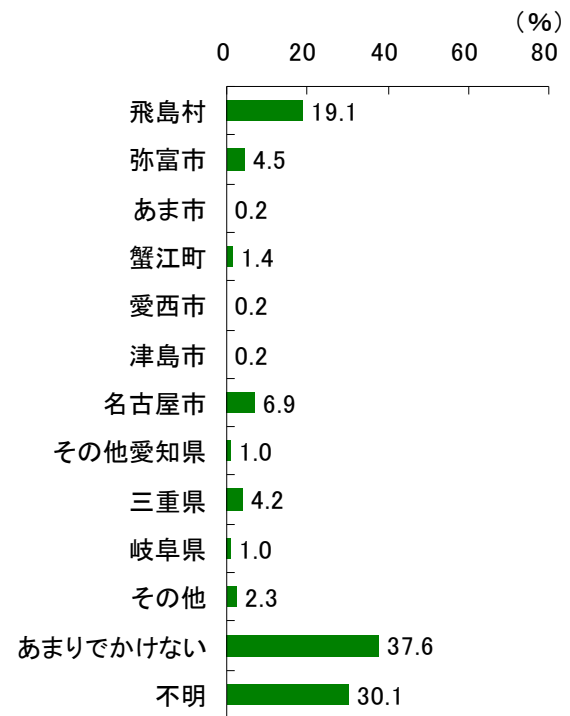
(エ) 外食（昼食や夕食等）



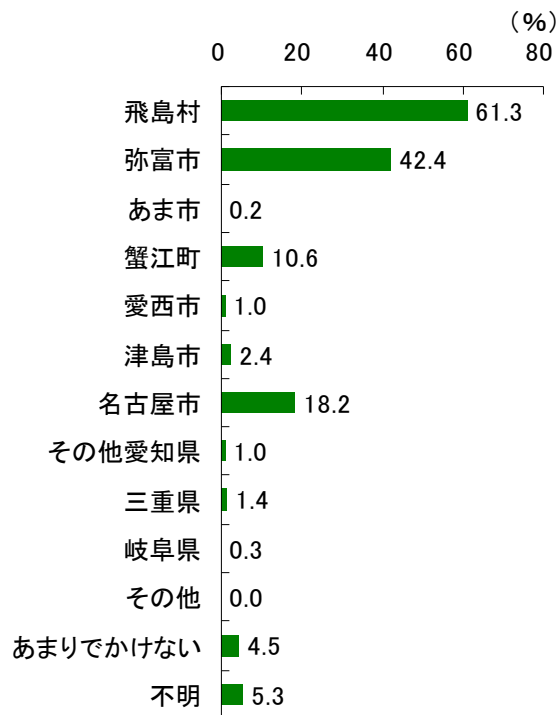
(オ) 趣味・習い事



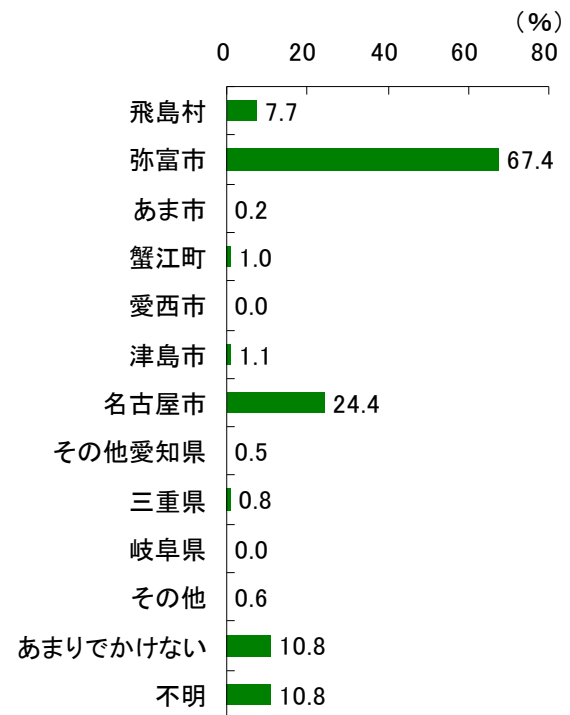
(カ) スポーツ活動



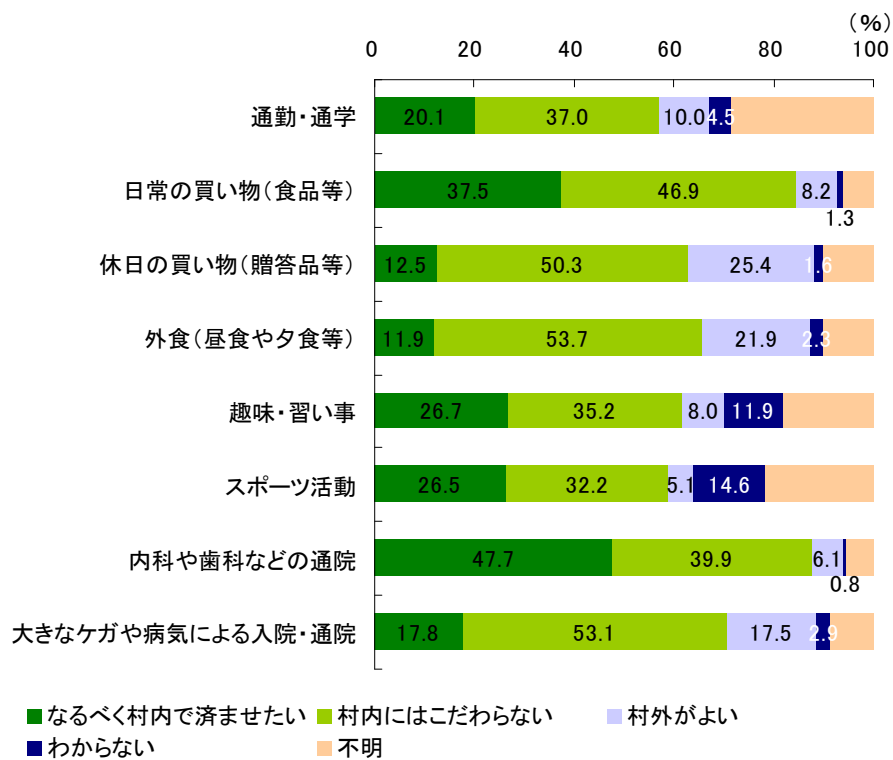
(キ) 内科や歯科などの通院



(ク) 大きなケガや病気による入院・通院



④あなたが次の行動をする際に、村内で済ませたいと考えるものは何ですか。次の各行動について、該当するものを1つずつ選んで○印をつけてください。



2 事業所向けアンケート調査

(1) 調査概要

対 象	飛島村内に立地する 300 事業所
調査手法	記入式・郵送回収
調査期間	～2010 年 10 月 1 日（金）
回収数・回収率	186 票・62.0%
設 問	問 1 事業所について 問 2 経営の現状および今後の見通しについて 問 3 飛島村に立地する魅力について 問 4 飛島村の行政に対する要望について 問 5 地域住民との交流活動について 問 6 地域交通（飛島バス）について

○報告書の見方

- ・ 本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

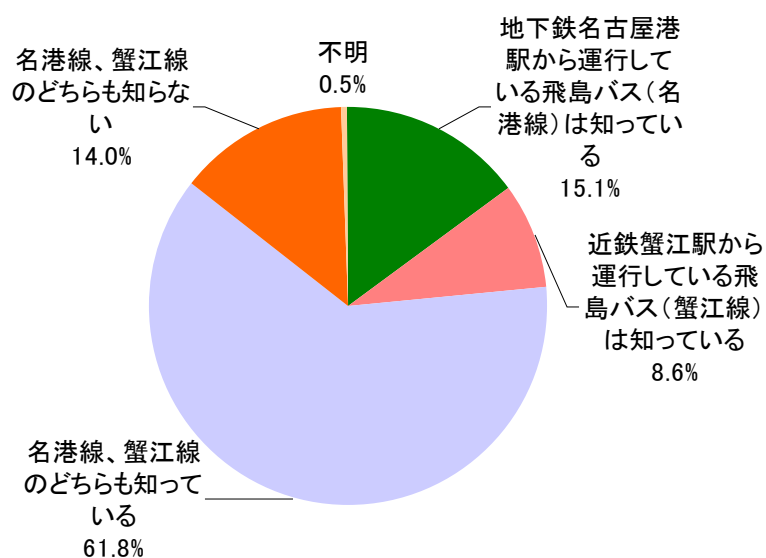
(2) 集計結果

問6. 地域交通（飛島バス）について、おたずねします。

①以降の質問は、ご記入いただく方がわかる範囲でお答えください。

飛島村では、従業員の皆様の通勤手段を確保することを目的に、「飛島バス（名港線・蟹江線）」を運行しています。あなたは、飛島バスをご存じですか。

○「名港線・蟹江線のどちらも知らない」との回答が 14%あり、100%の認知度とはなっていない。

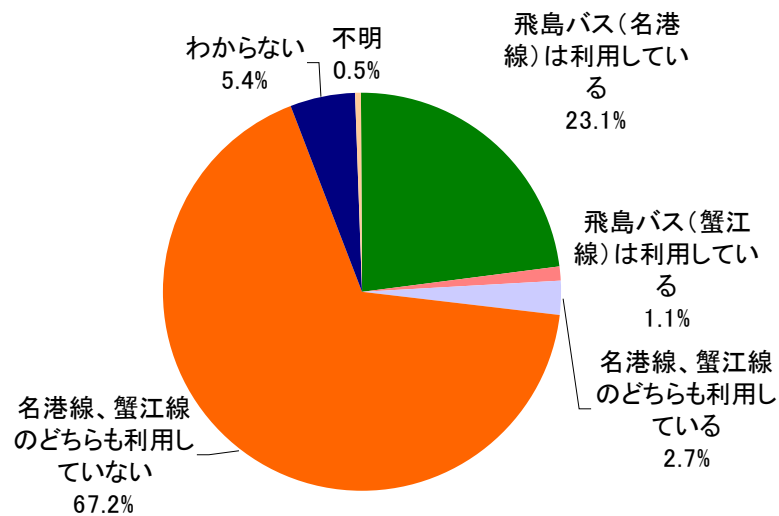


⑫貴事業所の従業員の方は、飛島バス（名港線・蟹江線）を利用したことがありますか。

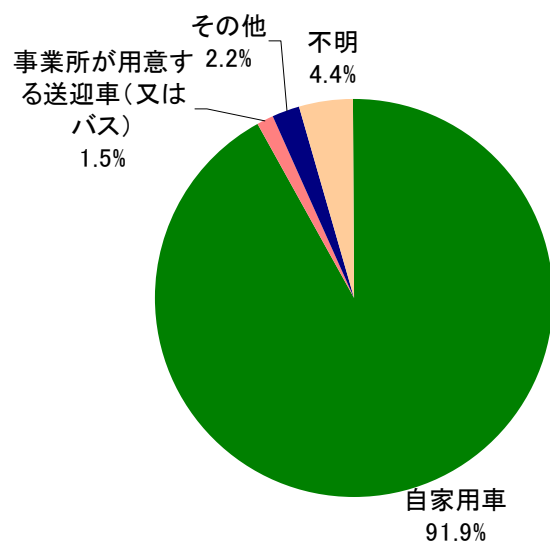
○従業員の飛島バスの利用状況について、「わからない」との回答は約5%で、通勤手段の実態は把握されている。

○「名港線・蟹江線のどちらも利用していない」との回答が約67%で、その内約92%が「自家用車」での通勤となっている。

○バスの利用は約25%程度で、自動車に依存した通勤状況となっている。

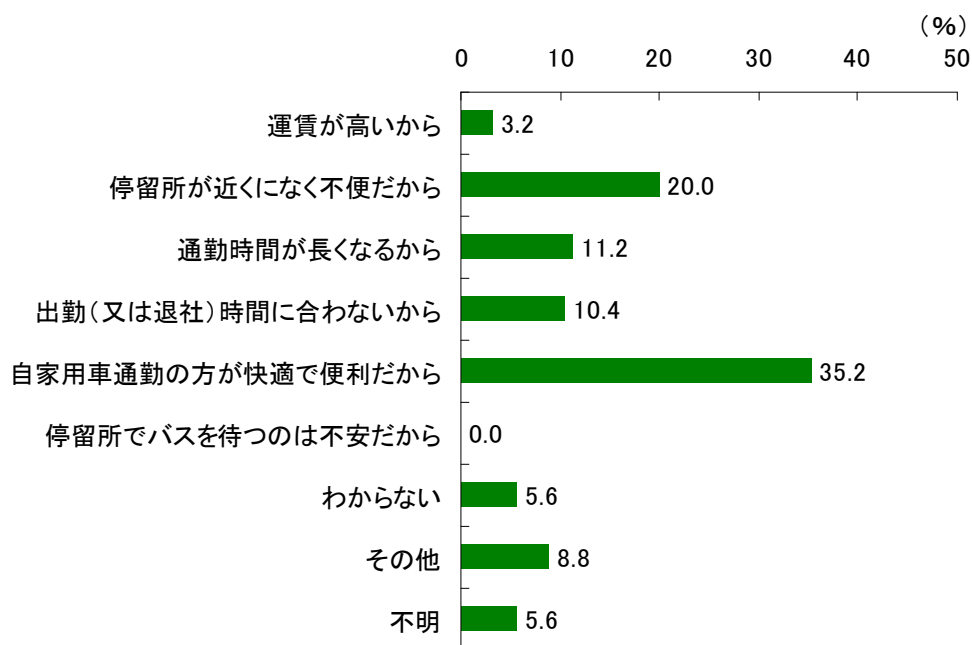


※「名港線、蟹江線のどちらも利用していない」又は「わからない」と回答された方は、従業員の方の主な通勤手段についてその番号を1つ選んで○印をつけてください。



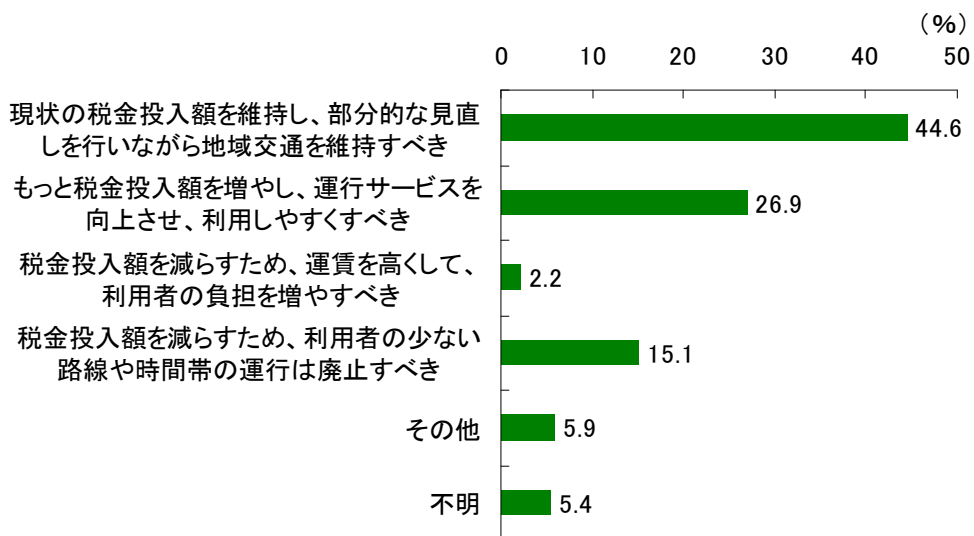
⑬問⑫で「名港線、蟹江線のどちらも利用していない」と回答された方にお伺いします。貴事業所の従業員の方が「飛島バス」を利用しない理由として、最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

○飛島バスが利用されない理由は、「自家用車通勤の報が快適で便利だから」が約 35%と最も多く、次いで「停留所が近くになく不便だから」が 20%となっている。
○朝夕の通勤による渋滞緩和を図るには、公共交通の充実を進めるだけでなく、「利用者側の意識転換」が伴わなければ、飛島バスの利用は向上しないものと思われる。

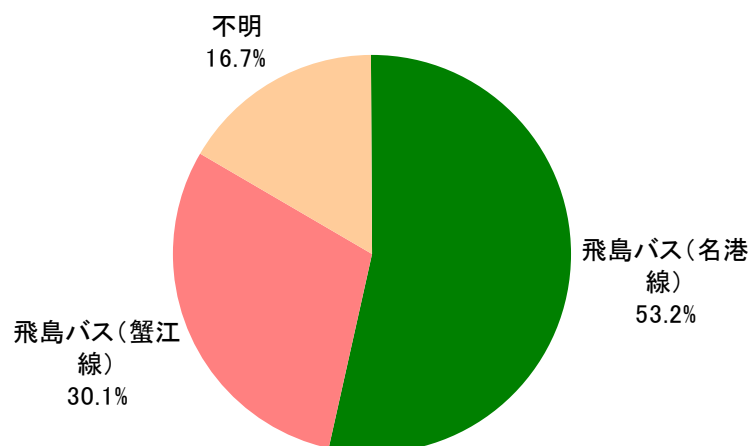


⑭「飛島バス」の運行費用は、飛島村の税金と運賃などによってまかなわられています。これまでも、利用しやすい公共交通を目指し様々な改善を行ってきましたが、大幅な改善をすることで、運行費の負担が増えることも考えられます。今後の対応について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

○「税金投入額を維持し、部分的な見直しにより維持すべき」との回答が約45%と最も多く、「次いで税金投入額を増やし、運行サービス向上させるべき」との回答が約27%となっている。
○これ以上の税金投入は指示されていない。

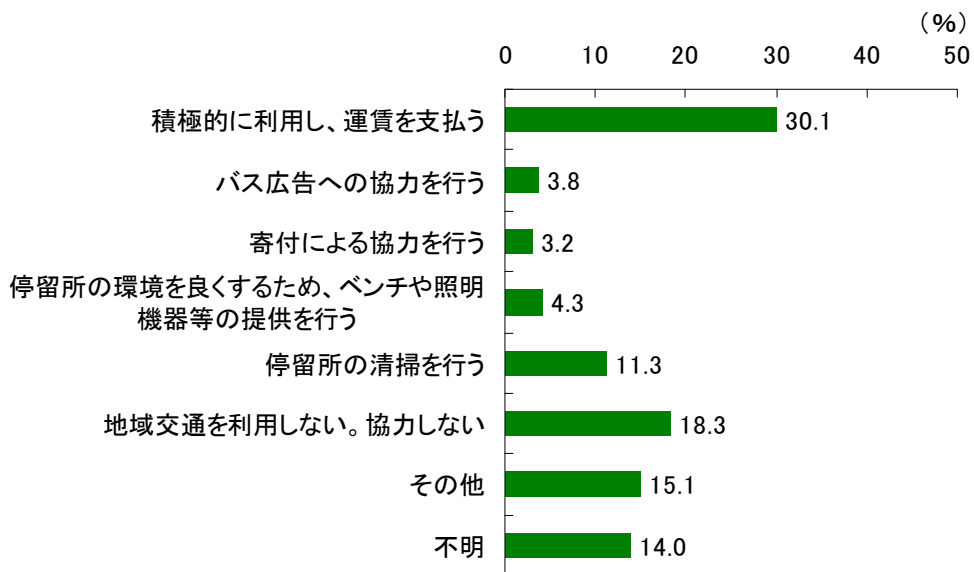


⑮問⑭で、特にそのように思った路線は、どちらですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○印をつけてください。

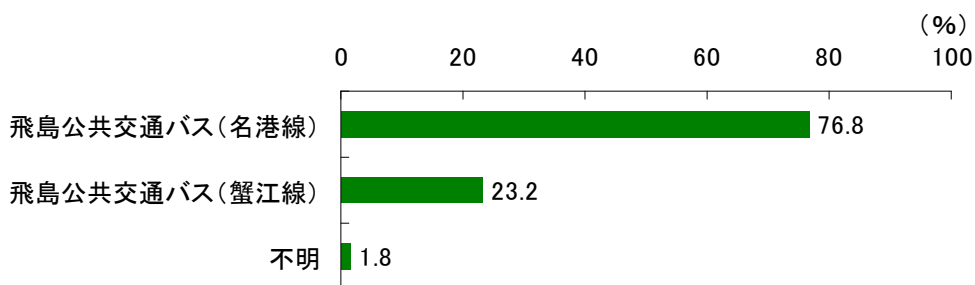


⑩税金投入額を削減し、地域交通を維持するためには、事業所の皆様の積極的な協力が必要不可欠です。貴事業所が、地域交通の確保に向けて協力できることはありますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

○税金投入額の削減に対して、「積極的に利用し、運賃を支払う」との回答が最も多かった。
 ○「バス広告」「寄付」「ベンチ等の提供」「清掃活動」といった協力についても僅かであるが認められた。



※「積極的に利用し、運賃を支払う」と回答された方は、どの路線が利用できますか？

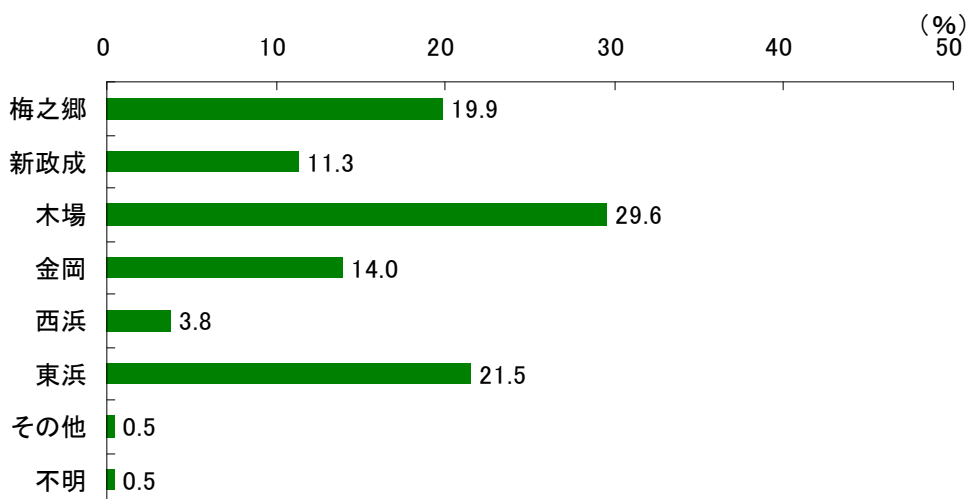


(3) 参考データ

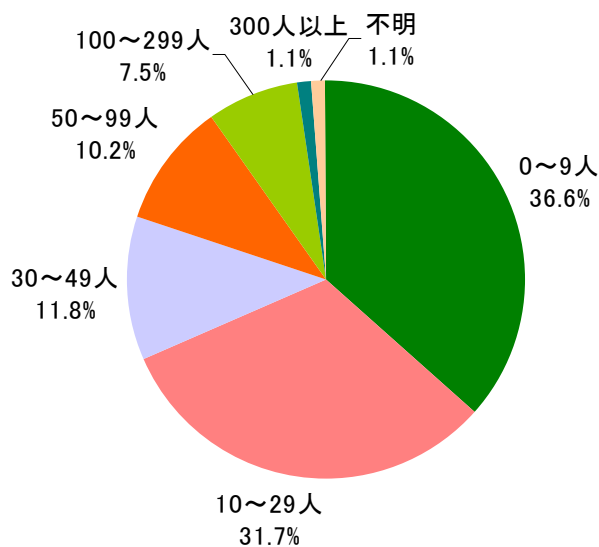
問1. まず、貴事業所について、おたずねします。

①貴事業所について、(1)～(3)の各項目で当てはまるものを選んでください。((1)以外はそれぞれ1つに○)

(1) 事業所の場所 (該当するものすべてに○)



(2) 事業所の従業員数 (非正規従業員を含む)



(3) 業種

